

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-208570
 (43)Date of publication of application : 11.09.1991

(51)Int.CI.

B25C 5/02

(21)Application number : 02-001711

(71)Applicant : MIHASHI YOSHIO

(22)Date of filing : 09.01.1990

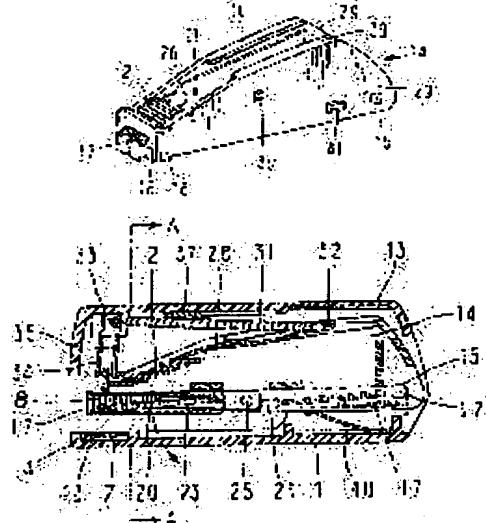
(72)Inventor : MIHASHI YOSHIO

(54) MULTIPLE FUNCTION STAPLER DEVICE AND FRAME AND PUSH EDGE FOR THIS DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To use plural kinds of staples according to the use, by providing the storage of staples having the similar inclination to that of inclined set staple inside a frame and also providing the storage of a horizontal set staple at the lower part thereof.

CONSTITUTION: In order to charge in inclined set staple 2 like a decoration staple to a frame 14, a needle pusher 26 is advanced by the contraction force of a tension spring 31 and becomes in a usable state, when a handle 13 is closed after charging the inclined set staple 2 to a needle rail body 20, because of the needle pusher 26 being retracted by the tension spring 31, when the handle 13 is subjected to a full admission. In the case of charging a standard staple, a horizontal set staple is charged forward the needle pusher by retracting the needle pusher of the magazine 17 inside, after the full admission of a base 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

Best Available Copy

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報 (A) 平3-208570

⑫ Int. Cl. 5
 B 25 C 5/02 識別記号 庁内整理番号 ⑬ 公開 平成3年(1991)9月11日
 Z 7181-3C

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全8頁)

⑭ 発明の名称 多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃
 ⑮ 特願 平2-1711
 ⑯ 出願 平2(1990)1月9日
 ⑰ 発明者 三橋 良夫 神奈川県横浜市旭区東希望が丘79番地
 ⑱ 出願人 三橋 良夫 神奈川県横浜市旭区東希望が丘79番地

明細書

1. 発明の名称

多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃。

2. 特許請求の範囲

(1) ベースとフレームと針押具とハンドルなどからなるステーブラー装置であって、前記ベースには複数種類の縦針を曲折する曲台を設け、フレーム内には、上面に巾広部を設けた縦針を連結した傾斜状セット縦針と、線材をコ字状にプレスして連結した水平状セット縦針の、複数種類の縦針を盛りする収容部を設けると共に、ハンドル内に複数種類の縦針を押圧する押刃を設けたステーブラー装置において、前記フレーム内に、前記傾斜状セット縦針と同様な傾斜角度を有する縦針の収容部を設けると共に、その下方に水平状セット縦針の収容部を設けてなる多機能ステーブラー装置。

(2) フレームの内部に、上面を前端部から後

部に向けて、上方に傾斜状に形成した外フレームを設けた多機能ステーブラー装置用フレーム。

(3) フレーム内下方に、内部に針押装置を設けたマガジンを収容する、収容部を設けた多機能ステーブラー装置用フレーム。

(4) フレーム内に設けた収容部に、マガジンを回転及び着脱可能に接着した、請求項3記載の多機能ステーブラー装置用フレーム。

(5) フレーム内に、前部から後部に向けて、上方に傾斜した縦針の収容部を設けると共に、その下方に、水平状セット縦針の収容部を設けた多機能ステーブラー用フレーム。

(6) ハンドルの前端内に、規格縦針を押圧する押刃と、傾斜状セット縦針を押圧するため、下部を門状に形成した、複数の押刃を並列して設けてなる、請求項1記載の多機能ステーブラー装置用押刃。

(7) ハンドルの前端内に固定した押刃の下方に、複数の空隙部を形成し、两侧に傾斜状

特開平3-208570 (2)

セット綫針の押圧部を設け、中央に水平状
セット綫針の押圧部を設けてなる、請求項1
記載の多機能ステーブラー装置用押刃。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この発明は、綫針の上面に円形、花形、動物模様などの装飾部を一体的に形成した装飾綫針や、綫針の上面に吊り頭を形成した吊り掛け綫針、及び日本工業規格のステーブラー用綫針などを、紙類に綴じるための多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃に関するものである。

【従来の技術】

綴刷された紙などを綴じるステーブラーは、多種多様なものが知られている。一般的には日本工業規格で定められている、細い針金をコ字形にプレスして横に水平状に接着した10号綫針や、3号綫針等を使用するステーブラーが広く使われている。

また、これらの規格綫針のほかに、上面部に装

飾用の模様を印刷したり、動植物の形状を施した装飾綫針を、紙等に接着するステーブラー装置もある。

例えは、日本国特許新案公告公報昭57-43656号の「ホッティキス」のように使用のたびに、装飾綫針を1本づつホッティキス本体の綫針保持枠内に挿入し、装飾綫針を押板の下面に設けられたゴム磁石の磁力で吸着させて固定した後、押板を押し下げて用紙などに綴じるようにしたものがある。

一方、日本国公開特許公報昭57-127681号には紙その他のものを吊り下げる、掛け具付綫針を被綴物に綴じるための「ステーブラー」が記載されてる。このステーブラーで使用する綫針は、多數の綫針を傾斜状に連結して接着したものを使用している。

また、本発明者等は、極めて簡単な構成により、多數の装飾綫針を傾斜状に接着したセット綫針を、一度にステーブラー本体内に下方から容易に装着できる「ステーブラー装置並びに該装置用

フレーム及び針押具」を提案し、特願昭63-172775号として既に出願し、更に傾斜状にセットした装飾綫針を本体内に上方から装着できる「ステーブラー装置とこのフレーム」を特願平1-63585号として出願した。

出願した前記2件のものは、装飾綫針の挿入方法は異なるが、いずれも傾斜状に連結したセット綫針を連続して綴じ作業ができ、又、装飾綫針の針脚部が被綴物の面に垂直に正しく入るようになっている。

【発明が解決しようとする課題】

以上説明したように、従来のステーブラーは1台で、規格の綫針か、装飾綫針や吊り掛け綫針等の、1種類の綫針しか使用できず、規格の綫針や、装飾綫針、吊り掛け綫針を使用する場合には、3台のステーブラーを必要としたため、経済的にも不経済であり、保管収納に不便であった。

本発明が解決しようとする課題は、1台で従来の規格綫針や、上面に掛け具付の綫針や装飾等を施した装飾綫針等の複数種類の綫針を、確実かつ

容易に用紙に綴着できる、多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

本発明の多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃は、以上のような課題を解決するものであって、次のようなものである。

すなわち、本発明の多機能ステーブラーは、ベースとフレームと針押具とハンドルなどからなるステーブラー装置であって、前記ベースには複数種類の綫針を曲折する凸台を設け、フレーム内には、上面に巾広部を設けた綫針を連結した傾斜状セット綫針と、線材をコ字形にプレスして連結した水平状セット綫針の、複数種類の綫針を収容する収容部を設けると共に、ハンドル内には複数種類の綫針を押圧する押刃を設けたステーブラー装置において、前記フレーム内に、傾斜状セット綫針と同様な傾斜角度を有する収容部を設けるように構成した多機能ステーブラー装置である。

また前記の傾斜状セット綫針を収容するため、

特開平3-208570(3)

フレーム内に、上面部を前端部から後方に向けて、上方に傾斜状に針レール体を設け、更に通常の規格綫針を使用するために、規格綫針を装填したマガジンを収容するために、フレーム内に収容部を設け、このマガジンを収容部に回動及び着脱可能に装着するように構成する。

更に、規格綫針と装飾綫針や吊り掛け綫針の複数種類の綫針を押圧するために、ハンドルの前端内に、規格綫針を押圧する押刃と、装飾綫針等を押圧する複数の押刃を並列して設けたり、または、ハンドルの前端内に固定した1個の押刃の下方に複数の空隙部を形成し、両側に装飾綫針等の押圧部を設け、中央に規格綫針の押圧部を設けて、複数種類の綫針を使用できるようにした、多機能ステーブラー装置並びにこの装置用フレーム及び押刃である。

【作用】

前記のように構成された多機能ステーブラー装置において装飾綫針のような傾斜状セット綫針をフレームに装填するには、ハンドルを全開する

と、針押具が引張りバネにより後退するので、傾斜状セット綫針を針レール体に装填した後ハンドルを閉じると、引張りバネの収縮力により針押具が前進し使用可能な状態になる。

次に規格綫針を装填する場合は、ベースを全開した後、マガジン内の針押具を後退させて針押具の前に、水平状セット綫針を装填する。

なお、装飾綫針を使用する場合は、規格綫針を装填するマガジンを、フレームの後方に回動するか後退させて使用するものとし、また規格綫針を使用するときは、装飾綫針をフレーム内から取り出してから従来のステーブラーと同様に使用する。

【第1実施例】

以下、この発明の実施例を図面にしたがって説明する。第1図は多機能ステーブラー装置の中央断面図である。第2図は第1図のA-A線断面図である。第3図は、前記多機能ステーブラー装置を構成する部品の一つである、ベース1の斜投影図である。

ベース1は長方体の板状であり、全体は本実施例の場合は合成樹脂製である。ベース1の前部上面には、装飾綫針2及び、吊り掛け綫針3を曲げるための金属製の板材で作られた仙台4が設けてあり、この仙台4には、装飾綫針2の脚部5、5及び吊り掛け綫針3の脚部6、6を曲げる曲構7、及び後述する規格綫針8の脚部9、9を曲げる曲構10が形成されている。

ベース1の後部両側には、上方向に側壁11、11が形成しており、この側壁11、11には、枢着軸12、12が、側壁11、11から内側と外側の両側面に一体に突出して設けてある。外側の枢着軸12は、ハンドル13の枢着孔(図示せず)に挿入し、互いに回動自在に軸支持するためのものである。

内側の枢着軸12は、フレーム14の後部に設けた枢着孔15に挿入され、互いに回動自在に軸支持している。したがってベース1とハンドル13及びフレーム14とがそれぞれ自由に枢着軸12、12を中心回動できる。

次に第4図に示すフレーム14は、通常は合成樹脂材で成形加工により構成したものである。フレーム14は、第1図及び第4図に示すように、上面を前部から後方にかけて傾斜状に形成し、前端の前壁部16の中央部を門式に切欠いて、第5図に示す。マガジン17の前部が嵌合する嵌合孔18を設けると共に、後部の下方に枢着孔15を穿設する。

フレーム14内には、第6、7、8、図に示すような、上面に装飾部19を一体的に形成し、これを段階的に連結して傾斜状にセットした装飾綫針2を、回動可能に装填する2個の針レール体20を設ける。この針レール体20は上面を前壁部から後方上に向けて、第8図に示す装飾綫針2の傾斜角度とほぼ同様の傾斜角度に構成する。

次にフレーム14の長手中央部の下方には、第5図に示すマガジン17を収容する収容部21を設ける。このマガジン17の内部には、本実施例においては、第9図に示す日本工業規格で定めるNo.10号の規格綫針8を水平状に連結して接着し

特開平3-208570 (4)

た樹針を装着すると共に、針押具22、及び引張りバネ23を装着し、更に換部に枢着孔24を穿設し、この枢着孔24を、針レール体20の下方に設けた枢着軸25と嵌合させて第1図の状態に保持すると共に、この軸25を中心、第1図示のように矢印方向に回動して、点線で示す位置に保持できるようになっている。

次に第10図は装飾綫針2を後方より押して供給する針押具26を示す。針押具26は、フレーム14内の針レール体20の上面に装着され、前端の錐針押進部27で装飾綫針2の脚部5、5の後面を押圧して、装飾綫針2を前方に押し出す。

また、針押具26の両側面に設けた掛合突起28は、フレーム14の外壁29の上縁に内側に向けて中間部から後部にわたって突設された、掛合突起30の下面に前後掛動自在に設置する。更に針押具26の後部には、引張りバネ31を連結するための掛合突子32を設け、この掛合突子32に引張りバネ31の一端を掛止すると共に、他端を第1図に示すように、ハンドル13の前部

二股状になっており、この先端部38はフレーム14の上面に接触しているので、ハンドル13とフレーム14とを常時拡開するようにしている。

また、ハンドル13の両内壁には掛合突起(図示せず)を設け、この掛合突起とフレーム14両側の掛合突起39とを掛止させて、ハンドル13と、フレーム14とが所定角度以上に開放するのを防止するようにしている。しかしこの掛合は樹針を装着するためハンドル13とフレーム14間を開くときは、樹針に外れる程度のものである。

なお第1図において、40はベース1とフレーム14を拡開するためのベースバネ、第4図の41は、フレーム14とベース1を適宜な角度に拡開するための掛合突起、第13図の42は吊り掛け綫針3の吊り掛け部である。

多機能ステーブラー装置の使用法

この発明は、以上のように構成されているものであり、以下のように使用する。第1図の状態において、傾斜状にセットした装飾綫針2を使用するには、先ずベース1を枢着軸12を中心に下方

内に設けた掛合突起33に連結し、引張りバネ31の収縮力により、針押具26は針レール体20上に装着された装飾綫針2を、後方から押している。

次にハンドル13は、内部が空洞の直方体状の形をしていて、下端と換部が開放しており、本実施例のものは合成樹脂製である。ハンドル13の内部には、第1図に示すように下図の前端には、第11図に示すように第9図の規格綫針8を押圧する従来公知の押刃34が固着されており、更にその後ろ側に、第12図に示す押刃35が固着されている。

この押刃35は、第6、7、8図の装飾綫針2、及び第13図に示す吊り掛け綫針3を押圧使用するもので、下方を門形に形成して空隙部36を形成すると共に上部に引張りバネ31を係止する係止突片33を設ける。

更にこのハンドル13には、第14図に示すハンドルバネ37が固定してある。ハンドルバネ37の両端は、引張りバネ31が貫通するように

に開放した後、マガジン17を枢着軸25を中心に矢印方向に180度回動させて、点線の位置に装着させた後、ベース1を第1図の元位置に戻す。

この状態で従来のステーブラーと同様にベース1の曲台4の上に用紙を載せてハンドル13を押し下げれば、押刃35が、躍下し、針レール体20上に装着されている一連の装飾綫針2の前端の1個が、押刃35により曲台4上に押し出され、脚部5の先端が用紙を貫通した後、曲轍7により曲折されて装飾綫針2が用紙を縫じる。

そしてハンドル13の押圧を解けば、ハンドルバネ37の弾力によりハンドル13が上昇し、押刃35も共に上昇する。このとき、引張りバネ18の収縮力による針押具26の前進により、装飾綫針2全体が前進して再び第1図に示すような使用可能な状態になる。

なお、装飾綫針2を補給または、取り出すには、第1図の状態でハンドル13を枢着軸12を中心に開くと、引張りバネ31は針押具26を後

力に引っ張る。針押具 26 は係合突起 28 が、フレーム 14 の指動突片 30 の下面を搬動しながら後方に引っ張られる。これにより装飾縫針 27 の前方が開放されるので、針レール体 20 の上面に装飾縫針 2 を装着したり、または取り出すことができる。

次に従来の規格縫針 8 を使用するには、先ず第 1 図において、前述のようにハンドル 13 を開放して装飾縫針 2 を取り出した後、マガジン 17 を第 1 図の位置に装着する。これによりベース 1 の曲台 4 上に用紙を載せてハンドル 13 を押し下げれば、押刃 34、及び 35 も共に陥下し、押刃 34 がマガジン 17 内の規格縫針 8 の先端の 1 本を押し出し、用紙を貫通した後曲げ棒 10 により曲折して従来公知のステープラーと同様に用紙を縫じる。

このとき、装飾縫針 2 を縫じる押刃 35 も共に陥下するが、押刃 35 の下方には空隙部 36 が設けられて下端が二股に形成されているため、マガジン 17 はこの空隙部 36 内にはまり込むため、

次にこの第 2 実施例においては、装飾縫針 2 と、規格縫針 8 を押し出すための押刃を 1 個で行うようにしたもので、第 16 図のように押刃 46 の下面を 2箇所切欠いて空隙部 47、47 を設け、両側の押圧部 48、48 が装飾縫針 2 の脚部 5 の上面をそれぞれ押圧するようにして、装飾縫針 2 を押し出して使用し、中央の押圧部 49 は規格縫針 8 を縫じると共に使用するものである。

更に、押刃を 1 個で行うようにしたため、第 15 図に示すように、曲台 4 の後部を後方に延長し、後端に指掛け 50 を設けると共に、ベース 1 に突起 51 を設けて、曲台 4 がベース 1 からはずれないようにする。これにより指掛け 50 を指先で押すことにより、曲台 4 を適宜な位置に移動することができる。

以上のように構成された第 2 実施例により、まず装飾縫針 2 を使用するには、第 15 図において、マガジン 17 を矢印方向に後方に移動した後、ハンドル 13 を押圧すれば、第 1 実施例で説明したように装飾縫針 2 を使用することができる。

特開平3-208570 (5)

規格縫針 8 の使用には差支えない。

なお、吊り掛け縫針 3 を使用する場合は前述の装飾縫針 2 を使用したのと同様であるので説明を省略する。

【第 2 実施例】

次に第 15 図から第 17 図に示す第 2 実施例について説明する。この第 2 実施例は規格縫針 8 を収容するマガジン 17 を、着脱及び前後搬動可能にフレーム 14 に装着するようにしたものである。

このためマガジン 17 の後部に係合部 43 を設け、この係合部 43 をフレーム 14 の係合軸 44 に係合させると共に、前端部両側に形成した係合突起 45 を、フレーム 14 の針レール体 20 の下方内側に設けた係合孔（図示なし）に係合して、第 15 図示のように装着する。なおこのマガジン 17 は、装飾縫針 2 を針打ちするときは、矢印方向に後方に搬動するか、取り外しておく。また、規格縫針 8 を補給する場合は取り外して従来のステープラーと同様に装着する。

る。

次に規格縫針 8 を使用する場合は、第 15 図の状態において第 1 実施例と同様に、装飾縫針 2 をフレーム 14 から取り出した後、更にベース 1 の曲台 4 の指掛け 50 を後方に押して、曲台 4 の曲袖 10 をマガジン 17 の針出口 52 の直下に移動した後、ハンドル 13 を押し下げれば、押刃 46 の押圧部 49 が規格縫針 8 の上面を押圧し、空隙部 47、47 にマガジン 17 の両側壁が入り込んで、押圧部 48、48 は空打ちになるため、従来のステープラーと同様に、規格縫針 8 は用紙を縫じることができる。

【第 3 実施例】

次に第 18 図に示す第 3 実施例について説明する。この第 3 実施例は、前述の第 2 実施例のものから、規格縫針 8 の装着方法を変えたもので、第 2 実施例では、規格縫針 8 をマガジン 17 に装着したが、本実施例では、フレーム 14 の下部に設けた縫針収容部 53 に収納するようにしたものである。

特開平3-208570 (6)

そして、水平状にセットした規格縫針8を前進させるには、従来から公知の方法である、フレーム14前面に着着した磁石54の吸引力により行うものである。

なお、本実施例において、装飾縫針2を使用する場合に規格縫針8を取り出すには、縫針収容部53の後方から取り出すか、または磁石54を着脱できるように着脱しておき、磁石54と共に規格縫針8を取り出すようにしてもよい。

この第3実施例の使用方法は、第2実施例のものとほぼ同様であるので説明を省略する。

【その他の実施例】

以上本発明に係る、多機能ステーブラー装置並びにこの発明用フレーム及び押刃について説明したが、前記実施例に限るものではない。例えば、フレーム14内に設けた針レール体20は板状の2つの部材で構成したが、これを板状にしてもよく、また逆極状でも差支えない。また水平状セット縫針は、日本工業規格以外の縫針を用いてもよい。

第4図はフレームの斜投影図、第5図はマガジンの斜投影図、第6図は装飾縫針の斜投影図、第7図は同縫針を連結してセットした状態を示す斜投影図、第8図は第7図B-B線の断面図、第9図は規格縫針の斜投影図、第10図は針押具の斜投影図、第11図及び第12図は押刃の斜投影図、第13図は吊り掛け縫針の斜投影図、第14図はハンドルバネの斜投影図、第15図は第2実施例の断面図、第16図は同押刃の斜投影図、第17図は同マガジンの斜投影図、第18図は第3実施例の断面図である。

1...ベース、2...装飾縫針、3...吊り掛け縫針、4...曲舌、7...曲溝、8...規格縫針、10...曲溝、11...側壁、13...ハンドル、14...フレーム、17...マガジン、20...針レール体、21...収容部、26...針押具、31...引張りバネ、35...押刃、36...空隙部、37...ハンドルバネ、46...押刃、47...空隙部、49...押正部、50...

【発明の効果】

本発明は以上説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

フレーム内に装飾縫針や吊り掛け縫針の傾斜状セット縫針を収納する収納部を設けると共に、その下方に規格縫針の水平状セット縫針の収容部を設けたため、用途に応じて複数種類の縫針が使用できる。

このため、従来のごとく種類の異なる縫針を使用するため、複数のステーブラーを用意する必要がなく経済的である。

又、数種類のステーブラーを必要としないため、携行や、保管にも便利である。

なお、装飾縫針や吊り掛け縫針の捕給についてもハンドルを開閉するだけで簡単に装備できるので、従来品に比し極めて能率的である。

4. 図面の簡単な説明

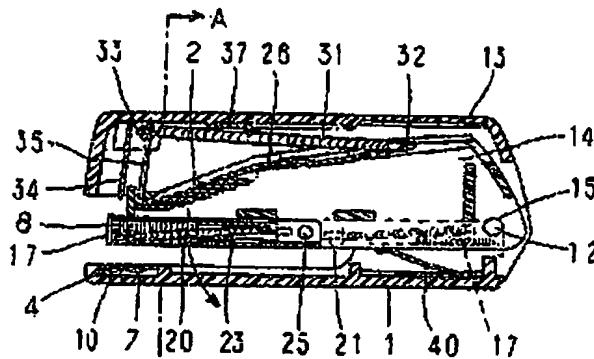
第1図はこの発明の多機能ステーブラー装置の第1実施例の縫断面図、第2図は第1図のA-A線における断面図、第3図はベースの斜投影図、

・指掛け、53...縫針収容部、54...磁石。

特許出願人 三橋良夫

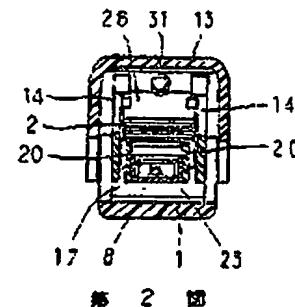
Best Available Copy

特開平3-208570 (7)

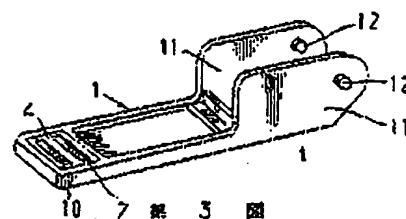


第 1 図

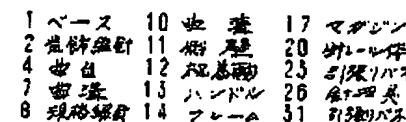
1	ベース	14	フレーム	31	羽根羽根片
2	装飾錐針	15	杞着孔	32	脚止突子
4	曲管	17	マガジン	33	側止突片
7	曲溝	20	フレーム体	34	押刀
8	規格錐針	21	収容部	35	刀甲
10	曲溝	23	羽根羽根バネ	37	ハンドルバネ
12	杞着軸	25	杞着軸	40	ベースバネ
13	ハンドル	26	斜押具		



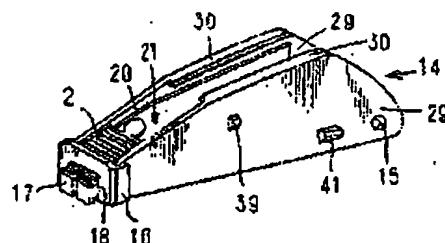
第 2 図



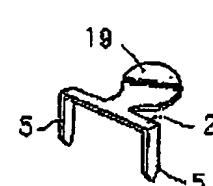
第 3 図



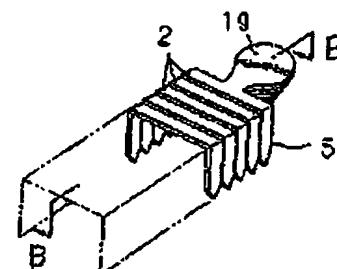
1	ベース	10	曲溝	17	マガジン
2	装飾錐針	11	脚止突子	20	フレーム体
4	曲管	12	規格錐針	23	羽根羽根バネ
7	曲溝	13	ハンドル	26	金具羽根
8	規格錐針	14	フレーム	31	羽根羽根バネ



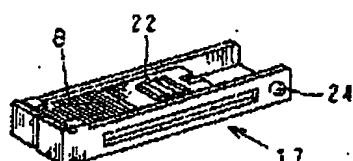
第 4 図



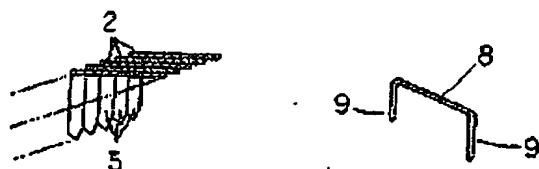
第 6 図



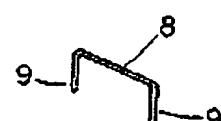
第 7 図



第 5 図



第 8 図



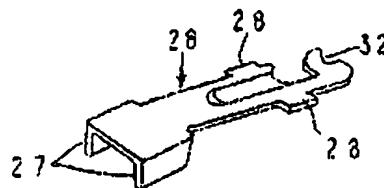
第 9 図

2	装飾錐針	17	マガジン	24	杞着孔
3	規格錐針	18	脚止突子	29	外壁
4	フレーム	20	フレーム体	30	羽根羽根片
5	杞着孔	21	收容部	31	脚止突片

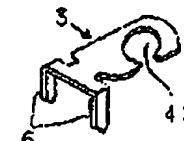
2	装飾錐針	9	脚部
5	脚部	19	岩錐部
8	規格錐針		

Best Available Copy

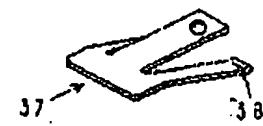
特開平3-208570 (B)



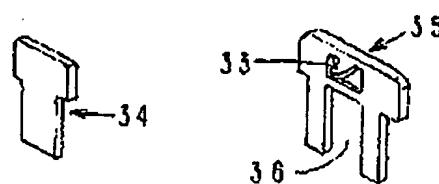
第 10 図



第 13 図



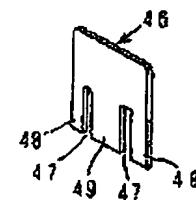
第 14 図



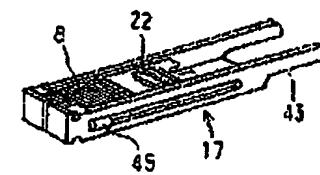
第 11 図

26 鈍押具
 27 線鉤押縫部
 28 線全突起
 32 損失突起
 33 係止突片
 34 捻刀
 35 捻刀
 36 空隙部

第 12 図



第 16 図

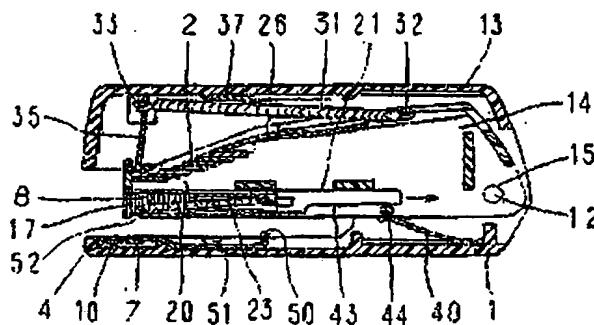


第 17 図

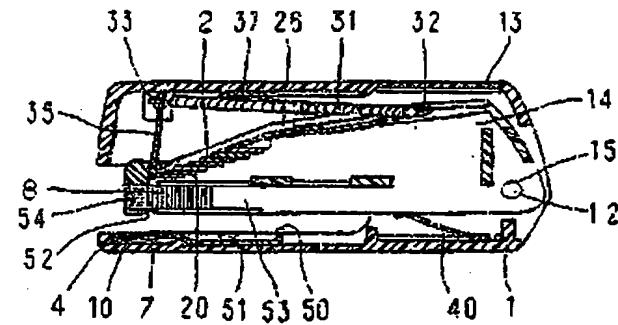
3 93
 6 92
 8 91
 17 マガシソ
 22 鈍押具

37 ハンドルバー
 38 捻刀部
 42 捻刀部
 43 線全突起
 45 線全突起

48 捻刀
 47 空隙部
 48 捻刀部
 49 捻正部



第 15 図



第 18 図

1 ベース
 2 線鉤押縫
 4 曲台
 7 曲導
 8 線鉤押縫
 10 曲導
 12 捻着軸
 13 ハンドル

14 フレーム
 15 捻着孔
 17 マガシソ
 20 鈍押具
 21 捻刀部
 23 駆程りバー
 26 鈍押具

31 係止突片
 32 損失突起
 33 係止突片
 35 捻刀
 44 線全突起
 50 捻掛け
 51 実起
 52 鈍出ロ
 53 線全突起
 54 磁石

1 ベース
 2 線鉤押縫
 4 曲台
 7 曲導
 8 線鉤押縫
 10 曲導
 12 捻着軸
 13 ハンドル

14 フレーム
 15 捻着孔
 20 鈍押具
 26 鈍押具
 31 係止突片
 32 損失突起
 33 係止突片
 35 捷刀
 37 ハンドルバー
 40 ベースバー
 50 指掛け
 51 実起
 52 鈍出ロ
 53 線全突起
 54 磁石